

男子ホッケーU21日本代表チーム

9th Sultan Of Johor Cup- 2019 (Malaysia)

日付	2019年10月13日 16:10~		
場所	マレーシア・ジョホールバル	天候	雨のち曇り
試合	第2戦	通算結果	日本 0勝2敗

RESULT			
Country		$\begin{bmatrix} 0 & - & 1 \\ 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \end{bmatrix}$	Country
日本	1		2
JAPAN			英国
			GREAT BRITAIN

Minute	Shirt No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	北河 拓実(GK)			
✓	2	田村 陸			
✓	3	沖原 爽一郎(C)			
✓	4	渡辺 恵大			
	5	武石 裕介			
✓	6	田村 圭吾			
✓	7	鶴飼 聡太			
	8	丹羽 巧磨			
✓	10	高橋 洋介			
✓	12	竹林 浩斗			
✓	13	河邊 皓星			
✓	14	松本 航			
✓	15	為國 龍次	59		
	6 16	川原 大和			
	6 17	松本 和将			
	18	安川 楽(GK)			
	6 21	森 紘之			
	5 22	中花 惇			
Coach		長屋 恭一			
Manager		穴田 直樹			
UMPIRE		CLAXTON Matthew (AUS)			

Minute	Shirt No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	PAYNE Oliver (GK)			
	31 2	MAZARELO James (GK)			
✓	3	NURSE Timothy			
	8 4	STANLEY TOBY			
✓	5	OATES James			
✓	6	RUSSELL Thomas			
✓	7	GRIFFITHS Gareth			
	3 8	RAMSHAW Matthew		54	
	6 9	GOLDEN Jamie			
✓	10	WEST Daniel			
✓	11	PARK Nicholas (C)			
✓	13	WALL Ioan			
	5 15	BHUHI Rohan			
✓	16	MACKENZIE Callum			
	3 17	WILLIAMSON CONOR			
✓	19	BUCKLE Adam			
	7 20	McCONNELL Andrew			
✓	21	RUSHMERE Stuart			
Coach		BLEBY Jon			
Manager		GANNON Paul			
UMPIRE		KABASO Peter (KEN)			

Team	Minute	Name	Action	Score
GBR	13	WALL Ioan	PC	0-1
JPN	21	河邊 皓星	FG	1-1
GBR	47	PARK Nicholas	FG	1-2

Team	Minute	Name	Action	Score

9th Sultan Of Johor Cup- 2019 (Malaysia) 第2戦の相手は、昨年優勝の英国である。
 第1Q 日本のセンターパスにより試合が開始される。英国は開始早々から高い位置でのプレスを仕掛け、速いテンポでパスをつなぎ。日本は、センターラインでのハーフプレスを仕掛け、カウンター攻撃を狙う。13分、英国は、右サイドからドリブルでサークルインして、リバースシュートし、GK#1北河が止めるも、DFに当たり、PCを取得する。#13WALL Ioanがドランクフリックシュートを打ち、左下に決め先取点を挙げる。その後も一進一退が続くが、第1Q終了間際の14分、日本がカウンター攻撃から中央をドリブルインしてヒットシュートを放つが、枠をとらえず得点を挙げる事ができない。

第2Q 第1Qとは違い、日本は開始早々から高い位置でのプレス、英国はセンターライン付近のハーフプレスを仕掛ける展開となる。日本は、18分スクープパスを受けた#13河邊がドリブルでサークルインして、DFの反則を誘いPCを取得する。#2田村陸が右側へパスをつなぎ、#8田村圭がシュートを打つが得点にすることができない。その後も前戦からプレッシャーをかけ徐々にペースをつかんだ日本は、21分、23Mライン付近のFHから#14松本航が素早くドリブルで持ち込みリバースシュートを打ち、GKがはじいたリバウンドボールを#13河邊が冷静に押し込み同点となる。28分左サイドから回り込みDFの反則を誘い、2本目のPCを取得する。#2田村陸がフリックシュートを放つが、#1PAYNE Oliverに阻まれ追加点を挙げる事ができず、前半戦を1-1で折り返す。

第3Q 日本は34分#12竹林が、相手陣内で23M付近でボールを奪いドリブルで中央突破し、豪快にヒットシュートを放つが、GK#2MAZARELO Jamesにファインセーブされ得点することができない。長後の35分英国は、センターライン付近でボールを奪い、左サイドからドリブルで持ち込み、リバースヒットを放つも枠をとらえず得点に至らない。その後は、早いパス回しから、何度も日本ゴール前に攻め込むが、日本DFの粘り強いディフェンスでも得点を与えない。

第4Q 開始直後の47分英国は、サークル付近のFHを素早くリスタートし、左サイドから強引に持ち込まれ、鮮やかにブッシュシュートを決められ追加点を挙げる。日本も50分自陣23M付近でボールを奪い、素早くロングパスをトップの#15松本につなぎ中央からドリブルで持ち込み、サークル内の#13河邊がヒットシュート放つもGKに止められるがPCを取得する。PCはトラップミスでチャンスを生かすことができない。英国は52分、カウンター攻撃から右サイドから回り込みPCを取得する。このPCは、フリックシュートを放つが、日本#4渡辺がシュートをブロックしてLCとなる。日本は、60分カウンター攻撃から右サイドからのセンターリングを受けた#6田村圭がシュートを打ちDFの足に当たりPCを取得するもGKに阻まれる。どうしても追いつきたい日本は、GKをベンチに下げ、パワープレイで猛撃する。続く62分、#3沖原がセンターライン付近からサークルへセンターリングを打ち、サークル内で受けた#12竹林が持ち込みPCを取得する。このPCはトラップミスにより、左サイドに流れシュート放つが得点に至らない。その後、終了間際の59分LCから#15為國素早く左サイドから持ち込みDFの反則を誘いPCを取得する。#2田村陸が強烈なフリックシュートを打ち、相手DFに当たりそのボールがクロスバーに当たり、再度PCを取得する。#2田村陸がフリックシュートを打ち、相手GKがはじいたリバウンドボールを押し込むが反則となり、得点を挙げる事ができず、タイムアップ。英国が2-1で逃げ切る。幾度もチャンスがあった日本は、決定力不足が敗因となった。

日本	11	シュート数	5	英国
	6	PC数	2	

